

「授業づくり支援」はじめました

昨年（2016年4月）に教育開発支援センターが設立されてから、早くも1年がたちました。当センターは、先生方が望むより良い教育実現のためのお手伝いをさせていただくための組織です。おかげさまで、初年度より様々な学部、学科の先生方と共に、組織レベルあるいは個人レベルの教育改善を進めることができております。

そして本年度よりセンターのあらたな取り組みとして「授業づくり支援」を始めさせていただいております。「冷麺、はじめました」みたいなタイトルになっておりますが、センターとして並々ならぬ気持ちを込めて推進しております。本制度は、より良い授業をつくりたいとお考えの先生から個人的にご依頼をいただき、一緒に授業改善策を検討させていただき制度です。具体的には支援Aと支援Bがあります。

支援Aは、「授業見学とコメント提供」です。ほとんどの先生は、自身の授業を自身の主観で改善されていることと存じます。自己評価による絶え間ない改善は非常に重要である一方、客観的な視点が入らないため、授業改善に役立つポイントを見落としがちです。そこで授業見学をご希望いただいた先生には、センター講師が実際にお伺いさせていただき授業を観察させていただきます。その上で、第三者の立場から授業の良い点と改善提案をフィードバックさせていただきます。もちろん、先生の教育観や意図を汲み取りきれずにお伝えしてしまうコメントもあるかもしれません。コメントに強制力があるわけではなく、あくまでも他者の視点として参考になる点があればという思いでお伝えさせていただきます。

支援Bは、「授業相談」です。これは授業見学ではなく、先生と研究室等でざっくばらんにお話しさせていただき、先生が授業に関して抱えておられる悩みや問題を解決するために、当方から事例を提供させていただいたり、問題解決策と一緒に考えさせていただくのです。今までにいただいた相談として、例えば以下のようなものがあります。

- 学生に授業内容に興味を持たせるためには、どうすれば良いか。
- 多人数講義でグループワークをさせたいが、どうすれば上手くいくか。
- 学生にもっと考えさせるような授業をしたいが、どうすれば良いか。

すでに授業相談をしてくださった先生からは、「すぐに実践できそうなヒントがみつかってよかった。来年からと思っていたが、次の授業から早速変えてみたいと思う。」「話していたら、頭がすっきりして整理された。次どうすればいいか、なんとなくわかってきた。」といったコメントをいただいております。

また、支援AとBの両方を組み合わせてご利用くださる先生もいらっしゃいます。支援の申し込みは随時受け付けております。お気軽にお問合せください。ご連絡をお待ちしております。

教育開発支援センター講師

西野 毅朗

「授業づくり支援」のお申込み方法

「授業づくり支援」をご希望くださる先生は、西野まで随時・直接、お気軽にご連絡下さい (nishino-ta@tachibana-u.ac.jp)。折り返し、日程調整などのご返信をさせていただきます。

授業づくりに役立つ書籍紹介

<p>中井俊樹 編著</p> <p>『アクティブラーニング』</p> <p>2016年発行 玉川大学出版部</p> <p>大学の教授法としてのアクティブラーニングを具体的に解説しています。巻末に50以上の技法も掲載しており、参考にしやすいものです。</p> 	<p>ダネル・スティーブンス, アントニア・レビ 著</p> <p>『ルーブリック評価入門』</p> <p>2014年発行 玉川大学出版部</p> <p>レポートやプレゼンテーション、技能や態度を評価するために世界中で活用が進んでいるルーブリックの作成方法が記載されています。</p> 
<p>池田輝政、戸田山和久、近田政博、中井俊樹 著</p> <p>『成長するティップス先生』</p> <p>2001年発行 玉川大学出版部</p> <p>初めて大学教員になる教員向けのテキスト。ストーリー調で書かれており、新任教員がぶつかる壁を乗り越える様子が伝わるわかりやすい一冊です。</p> 	<p>夏目達也、近田政博、中井俊樹、齋藤芳子 著</p> <p>『大学教員準備講座』</p> <p>2010年発行 玉川大学出版部</p> <p>新任教員向けのテキスト。授業のティップスだけでなく、大学教員として理解しておきたい基本的な情報が盛り込まれた一冊です。</p> 

学内イベント（教育開発支援センター主催）のご案内

学部・学科を越えた先生方の教育実践共有の場

「第2回たちばな教育サロン」

2017年5月31日（水）

12:30～14:00

※軽食とコーヒーをご用意しております

<事前申込不要・当日会場へ直接お越しください>

<第1部 話題提供（12:30～13:15）>

「新聞を活用した初年次教育の実践」

児童教育学科 青木 美智子 先生

「情報収集と活用の教育実践」

歴史遺産学科 明定 義人 先生

<第2部 教育実践共有会（13:15～14:00）>

参加者同士で、日ごろどのような授業をしているか、何に悩んでいるか、どうすればその問題を解決できるか等を、ざっくばらんにお話しいただきます。学部・学科を越えた対話の中で、教育改善のヒントが見つければ幸いです。

（ファシリテーター 西野 毅朗）

<第1回たちばな教育サロン参加者の声>

